

メディアの紹介

ドットマンは、新聞・雑誌など、多くのメディアより取り上げられています。



駅前へ飛来するムクドリ群の群れ=2010年10月撮影(平針駅前商店街振興組合提供)

ムクドリの大群のふん害に悩まされていた天白区の地下鉄平針駅周辺で、思わぬ「奇策」が効果を上げている。金色のテープをたなびかせる七夕飾りのような物体を振り回すと、ムクドリが一目散に逃げ出した。「ほかのどんな対策も効かなかったのに」と地元住民を驚かせている。(木下大資)

天白・平針駅周辺

金色地に、波打った黒い点状の模様が施された特殊加工のテープ「撃退ドットマン」。開発した福岡市の業者によると、鳥の視覚に違和感を与える効果があるという。軒先につり下げるタイプなど数種類を販売している。平針駅近くに事務所を構える総合設備業社長の高光広宣さん(右)がインターネットで見つけて取り寄せ、初め

さお振りムクドリ撃退

金テープに黒点…ふん害おはらい



鳥が飛来するテープを振り回して「撃退」した高光広宣さん=天白区の地下鉄線平針駅周辺

は半信半疑で試した。利用客は雨が降っている八月下旬、ホームセンター「平針駅前商店街振興」でも傘を差したタイで買ったさおと組組合の中島雅利理事長、かばを頭上にかみ合わせ、「五輪の入(ま)になると、ムクドリが歩いてきた。場行進の旗手にちなんで、毎年十一月(まで)で九時半まで振り回し七、八年前。子育てがうしろ光景が繰り返されたところ、ムクドリ終わった七月(ころ)に、中島が錯乱した様子で逃げると群れを成して電線。中部電力に頼んで電だした。夕方になるとや街路樹に止まり、大綱に障害物を取り付け集まってくるムクドリ。きな声で鳴く。歩道やてもつたが、すぐにを繰り返して「撃退」す。植え込みはふんで覆わ慣れし、効果はなるうちに、駅周辺に寄れて悪臭を放ち、駅のかった。ムクドリが嫌

鳥の視覚に違和感 効果に住民驚き

う音をスピーカーで流しても、翌年には戻ってきた。中島さんは「八方きかりで今年はやれることがない」と思っていた。こんなもので効果があるのかと思ったが、結果的にいなくなつて喜んでい「と、高光さんらに感謝状を贈る。ドットマンの販売元によると、携帯電話会社が基地局周辺の鳥害対策に使う事例などが増えているが、「振り回す使い方は初めて聞いた」という。ただ、ムクドリは移動しただけで、いなくなるわけではない。日本野鳥の会愛知県支部の清水元一さん(左)は「ほかの場所に移って同じ被害を起しているかもしれない」と戻つてくるかも、代かて人間と共生する必要がある。対策を強め強めるしかないのでは」と指摘している。

経営と管理の専門紙 ビルディング新聞

W Y 害鳥対策に威力 撃退ドットマン

害鳥忌避物の開発を行っているウイングヤマグチ(本社・福岡県、〇九二二五・四一五三七〇)はこのほど、宇都宮大学の杉田教授と九州大

学の江口教授(農水省鳥獣被害対策アドバイザー)の助言を頂き、鳥等の害鳥を寄せ寄せない「撃退ドットマン」を食卓簡易セットを開発し、このたび「もっし本格的販売を開始し

た。ドットマンは、自然界の警戒色である黄色と黒の組み合わせを採用しており、独自開発の3D視覚パネルと蛇柄模様が鳥類の視覚を混乱させる。また、風を受け動きやすい構造で、視覚の混乱を誘発する。導入実績は九州電力、国土交通省、市場、屋外看板、果樹園、マンション。

日本農業新聞

2009年(平成21年)10月19日(月曜日)

(9) 鳥類忌避資材「撃退ドットマン」の取り付けが簡単にできる。テープ



を取り付ける板に模様が浮き出て臨場感をつかみ、く黒い斑点を無数に印刷した忌避テープを簡単に設置できる。長さ6枚を特殊加工した板の周りに、たて足状に

効果が高い。蛇皮の模様似た小さな用施設の出入り口や野鳥類が近づいてほしくない所などにぶら下げるだけ。価格は発売記念特価で2980円。ウイングヤマグチ(福岡市)＝092(524)5376。

鳥類忌避用具の新商品・セット製品を発売開始

印刷物制作と害鳥忌避物の開発を行う(有)ウイングヤマグチ(福岡県)は、宇都宮大学の杉田教授、九州大学の江口教授(農水省鳥獣被害対策アドバイザー)等々専門家のアドバイスを受け、ハト・カラス等の害鳥を寄せ寄せない「撃退ドットマン」を開発し、さらにこのたび「簡単に取り付けられないか」という利用者の声に応じて、「住宅用鳥害対策セットおよび工場・倉庫簡易セット製品」の発売を開始した。

撃退ドットマンは自然界の警戒色である黄色と黒の組み合わせを採用し、独自開発の3D視覚パネルと蛇柄模様が鳥類の視覚を混乱させる。また風によって動きやすいため視覚の混乱を誘発する。これまで電柱(九州電力)、歩道橋や水門(国土交通省)などのほか、倉庫や果樹園、



撃退ドットマン